

Check! **大綱質疑・質疑**

12月定例会では3会派が大綱質疑、1人が質疑を行いました。

1号 議第
教育委員会教育長の任命について

Q 教育は子どもたちの健全な成長発達のため、学習期間を通じて一貫した方針の下で安定的に行う必要がある。確実に成果が上がっている小中一貫教育についての市長の思いと、提案のあった方の思いは一致しているのか伺う。

A 三条市の小中一貫教育は、よいところはさらに伸ばし、改善すべきところは改善することが大切であり、課題を解決しながら三条市の教育を進めることが大切だと考える。提案した方も小学校長や教育委員として小中一貫教育に携わっており、私の思いと同じである。

Q 教育長は教育の現場だけでなく事務全般を理解した上でさまざまな教育行政に係る政策・施策を実行しなければならぬ。提案のあった方は教育の経験はあるが、県や市町村教育委員会事務局での行政事務の経験がほとんどないと聞いている。幅広い事務を管理できるのか、未来ある子どもたち

を第一に考えての人選なのか伺う。
A 提案した方は、市内の校長経験を含め、学校現場で教育に直接携わってきたほか、中越教育事務所の指導主事として行政にも携わった経験があり、教育現場、教育行政とも深い知見を有している。これらの経験、知見を踏まえ、子どもたちのことを第一に考え、適任であるとの思いに至った。

4号 議第
三条市個人情報保護法施行条例の制定について

Q 個人情報保護条例を廃止し、個人情報保護法施行条例を制定する経過と、改定後の取り扱いはどうか。

A 個人情報保護の保護に関する法律の改定により全国共通のルールの下で運用するため、制度の根拠が同法に移行し従来の条例が不要となる。三条市の開示決定等の期限や手数料等の取り扱いなどは従来と大きな変更はない。

8号 議第
三条市公民館条例の一部改正について

Q 公民館や分館の中で令和3年度の利用率が10%未満の施設は幾つあり、その施設についてどのように検討を進めているのか。

格の差を基に年間平均の灯油使用量で影響額を算出したもの。

Q 8款土木費2項道路橋梁費追加補正4件、8億5084万円について、箇所の選定理由と発注について伺う。

A 継続事業の中で令和5年度中に工区完了、事業完了する等で早期の効果が見込める路線を選定した。早いもので4月頃から現場着手出来るよう進める予定である。

2号 報第
専決処分報告について（令和4年度三条市一般会計補正予算）

Q 12月から始まったマイナンバーカード取得に伴う「三条産品上乘せキャンペーン」について、国のマイナンバーカード第2弾締め切りに合わせて急いで11月に申請した市民に不公平にならないのか。またその対応はどのようにするのか伺う。

A 今後の国の交付金採択に、マイナンバーカード交付率が勘案されるとの情報があり、それに伴う補助金を財源に、他自治体の事例を参考に実施した。補助金範囲内の事業であるため、期間に該当しない市民の方々は丁寧に説明し理解をいただく。

会派所属議員 ※○：会派の代表者

清風会	○西川重則 山田富義 岡田竜一 酒井 健
	馬場博文 白鳥 賢 岡本康佑 西村邦明
自由クラブ	竹山嘉一
	○森山 昭 佐藤和雄 阿部銀次郎 武石栄二
日本共産党議員団	野寄久雄 藤家貴之 内山信一
	○小林 誠 坂井良永 武藤元美
公明党議員団	○燕 幸男 笹川信子
無所属	長橋一弘

A 令和3年度末の利用率が10%未満の施設は、下田公民館森町分館を除き4施設ある。今後の対応については、再配置計画の見直しを含め、検討を進めていく。

9号 議第
三条市消防団員の定員、任免、給与、勤務等に関する条例の一部改正について

Q 消防団員の成り手不足が叫ばれているときに、団員数削減と組織再編の条例改正がなされるが、地域防災力の低下につながるのか、改正の主旨を伺う。

A 令和2年から取り組む人員再配置の結果であり予定通りである。今後の組織体制も再編により管轄地域の欠員や人口格差の是正が実現し、また学生消防団の育成も順調で、条例改正によって今後も効果的・効率的な地域防災維持が期待できるもの。

16号 議第
令和4年度三条市一般会計補正予算

Q 原油価格、物価高騰の影響を受ける事業者や子育て世帯に対する支援については国の臨時交付金を財源としているが、公共施設に係る光熱費の高騰に係る経費に対して

は、国の支援や財政措置はないのか、市の考えはどうか。

A 臨時交付金については、公共施設に係る光熱費等の経費には活用できない。引き続き、市長会等を通じて国に公共施設の光熱費など、行政サービスを維持する上で必要な経費の高騰に対する支援について強く働き掛けていく。

Q 学校給食の無償化が行われる。対象世帯と期限はどうか。

A 小中学校等に在籍している全ての児童生徒に、本年12月分から令和5年3月分までの期間。

Q なぜ三条市立大学の新たな給付型奨学金を創設するのか。

A 安心して学業に専念できる環境を整えることで、三条市立大学を選んでもらえるよう大学が給付型奨学金制度を創設するもの。そこに三条市が支援する。

19号 議第
令和4年度三条市一般会計補正予算

Q 生活困窮世帯灯油購入費補助金1世帯当たり5000円支給する根拠を伺う。

A 物価高騰前の令和2年11月の灯油価格と令和4年11月の灯油価

議案に対して意見を主張します。



議論 01 日本共産党 議員団

議第4号
三条市個人情報保護法施行条例の制定について

三条市個人情報保護法施行条例の制定について反対。

従来、地方自治体が国より先行する形で進んできた個人情報保護制度。全国共通のルールで個人情報を取り扱われることになり、これまで原則禁止の思想・信条・信教などの要配慮個人情報の収集や、オンライン結合の禁止などが緩和され個人情報保護の切り下げになる懸念がある。この制度改定を糸口に、地方自治が弱められ国の類型に収まる範囲の施策しか行えない可能性もあり、住民福祉などが後退する恐れがあり反対だ。

請願第4号
消費税インボイス制度の実施中止を求める請願

「消費税インボイス制度の実施中止を求める請願」は、付託された総務文教常任委員会で不採択だったが採択すべきだ。「消費税インボイス制度の実施中止を求める請願」は、令和5年10月からインボイス制度の導入が予定されている。実施後は、現在免税業者となっている個人事業主や、フリーランス、小規模農家、シルバー人材センターに登録の高齢者などにも大きな負担が強られる可能性が出てくる。このため日本商工会議所をはじめ、多くの団体で「凍結」「延期」「見直し」を要望している。よって請願は採択すべきものだ。

議論 02 無所属

議第16号
令和4年度三条市一般会計補正予算

2款総務費1項総務管理費7目高等教育機関費18節負担金、補助及び交付金、事業番号10番三条市立大学運営費、三条市立大学奨学金事業負担金